



## 今月のカレンダー 「カタクリ」

カタクリというと大伴家持の「もののふの八十おとめらが汲みまごふ 寺井の上の堅香子の花」の歌が思い出される。カタクリのうつつむいた恥らうような花も美しいが、この歌もまた美しい。然しかつては食用にされていて、この根茎からとったでんぷんが片栗粉である。もちろん現在の片栗粉はジャガイモでんぷんである。北海道から九州にかけて分布するが、南には少なく、四国や九州ではめずらしい。本市でもぜひ保護しなければならぬ植物である。移植しても数年で枯死する。欧米には白や黄の花のカタクリの仲間がある。

カセットブックが用意されています。電話でも申し込むことができます。他にどんなサービスをしていますか。図書館にない本を、リクエストできます。又、どなたかが見たい本を借りているので次には私がという方のために、本の予約もしています。他に県立図書館からも相互利用ができますので、利用して下さい。

最後に、これらの本の利用は、一人二週間で、三冊まで貸し出しができます。詳しいことはお気軽に、おたずね下さい。小学生以上の方には貸出券を発行します。是非一度図書館にお立ち寄り下さい。お待ちしております。

### 問合せ先

市立図書館  
☎(43) 1321

## シャトルを追いかけました

### 市民バドミントン大会

三月十三日(日)、市民総合体育館において、子供から大人まで約五十人の皆さんが参加し、一日楽しく過ごしました。成績は次のとおりでした。

#### ○男子シングルス

優勝 藤本一芳  
準優勝 中野金男  
第三位 砂金 護  
○女子シングルス  
優勝 高部敦子  
準優勝 上野恵美子  
第三位 網島幸子

#### ○男子ダブルス

優勝 堀内照彦・中野金男  
準優勝 佐藤義美・砂金 護  
第三位 遠藤 博・井上彰雄

#### ○女子ダブルス

優勝 高部敦子・佐藤優子  
準優勝 網島幸子・石井君代  
第三位 上野恵美子・森島規子

#### ○親子の部

優勝 砂金 護・智彦親子  
準優勝 萱沼幸子・修 親子  
第三位 萱沼幸子・恵 親子

### 小山田氏の

#### 発祥について

戦国の昔、都留市に館を構え、郡内を領有しながら、武田氏に従い、武田氏と共に亡んでいった戦国大名小山田氏について、発祥からお話しましょう。

小山田氏は、桓武天皇の流れを汲む平氏で、関東八平氏一族秩父氏から分かれ、平氏の祖高望王から九代目に当たる小山田有重の時、今の町田市の大平を占める小山田の荘を朝廷より拝領して別当職に就き、在地の姓を冠して小山田別当有重と名のるようになりました。

小山田氏が歴史上に登場してくるのはこの小山田有重の時で、甲斐源氏よりも早く、保元物語に見られます。

有重は、保元・平治の乱の頃には朝廷に出任し、平清盛方についていましたが、源頼朝が関東で兵を挙げると小山田一族あげて頼朝の家人として活躍したことが、平家物語、吾妻鏡などに見られます。

平家や木曾義仲の追討に抜群の功があり、重用された小山田氏ですが、頼朝が亡くなり、三代將軍源実朝の頃になると將軍の捕佐役に当たっていた執権北条時政との間で確執が生じるようになりました。元久二年(一二〇五)一族の有力者稲毛三郎重成、榛谷四郎重朝は、遠江国一俣川で、

北条氏の手で謀殺され、小山田氏の一族は離散の憂目となりました。

離散した一族のひとり小山田五郎行平(行重)は、難を逃れて甲斐国都留郡に土着するようになったと考えられています。

吾妻鏡から消えた小山田氏の名が再び登場してくるのは鎌倉大雙紙からで、応永二十三年(一四一六)に禅秀の乱で郡内の領主小山田弥二郎が武田信満と共に十賊山(大和村)で戦死したが記されており、その頃は既に金井に館を構えた都留郡の領主であったことがわかります。

次回は、郡内領主小山田氏と武田氏の関係についてお話ししたいと思います。